

2025年7月15日



Miyama, Japan

Officially recognized as a Best Tourism Village by UN Tourism in 2021

一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会

地図で見る南丹市美山町



数字で見る南丹市美山町

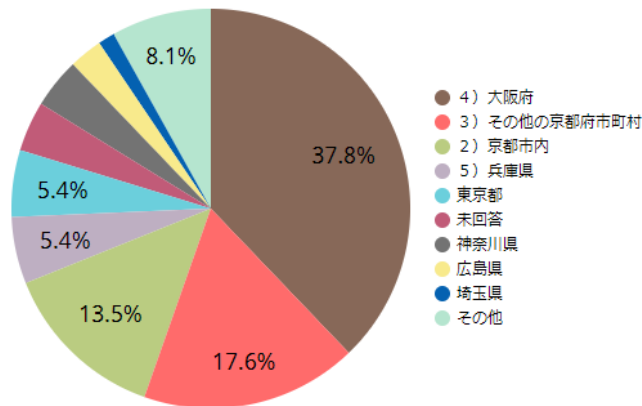
- 人口・・・3,203人（2025年6月1日現在 ※昨年同月 ▲131名）
- 面積・・・340.6km²
- 隣接自治体・・・京都市・綾部市・京丹波町・おおい町・高島市
- 森林面積・・・総面積の約96%が森林
- 合計特殊出生率・・・1.43（南丹市、2017年時点）
- 宿泊施設数・・・京都府登録件数48施設、内当協会会員30事業者
- 飲食店数・・・当協会会員34店舗
- 体験事業者数・・・当協会会員15事業者



来訪者の約7割は、京阪神からの来訪者と、マイロツーリズム需要が中心である。 結果、一人当たり消費額が伸び悩んでいる

来訪者の居住地

国内来訪者居住地の約3/4が関西圏（大阪・神戸・京都）である



<観光動向>

出典：美山DMO観光動態調査より

国内は約7割が京阪神からの来訪。再訪率は約4割。国外は台湾を中心にアジア系が目立つ。

来訪手段も自家用車・バイク自転車・バスツアーによるものであり、公共交通機関での利用はほとんどない。

近年訪日外国人の来訪はレンタカーでの利用が増えてきている。

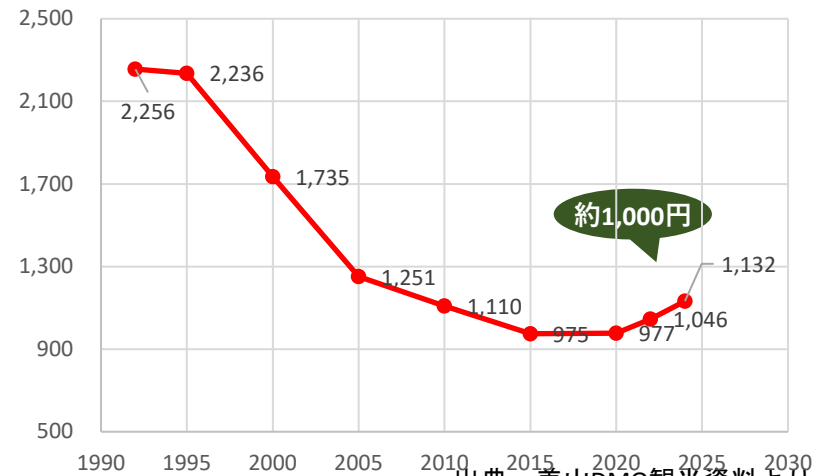
目的地としては、かやぶきの里を中心に、市内各道の駅への訪問が多い。また、キャンプや温泉施設への利用も多く見られる。

観光消費額の推移

コロナ回復期に、消費額は約120%程度増加したが、一人あたりは伸び悩んでいる

【観光消費額一人あたり】

(円)



出典：美山DMO観光資料より

【観光消費額の現状分析】

- ・コロナ以前からグランピングを中心にしたアウトドア関係の宿泊による消費額が増加（エリアとしては、園部・日吉エリア）
- ・お土産物等の物販では、道の駅を中心にかやぶきの里を来訪する日帰り客によるものが大きい。
- ・市の統計上の消費額には乗っていないが、訪日教育旅行が好調であり、美山町を中心に売上が急増している。
- ・また、ガイドツアーや日帰りの農家民家体験なども増加している。

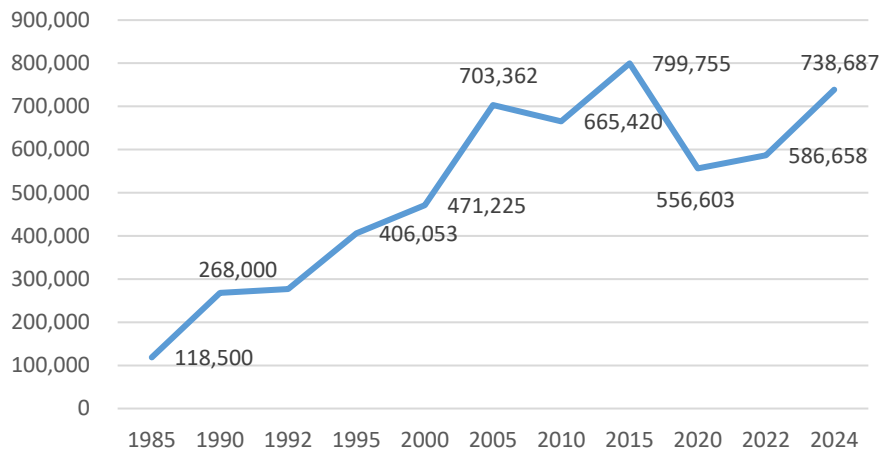


南丹市観光入込客数の推移

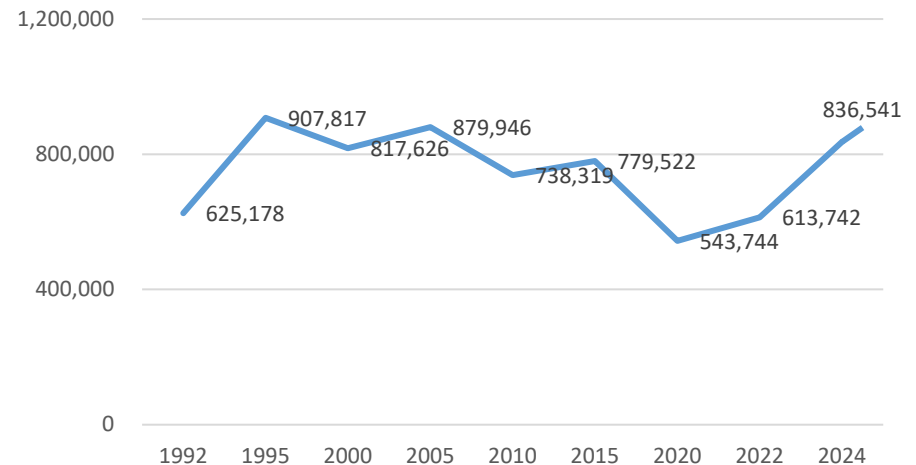
観光協会設立当初1985年から約7倍に観光客が増加
2019年度のコロナ以降来訪者は減少したが、
2022年度以降回復傾向にある

消費額は、コロナ後急速な伸びとなり、コロナ前より
も約110%程度増加となっている。

【観光入込客数（全体）】



【観光消費額 -総額-】



出典：南丹市観光統計より



観光まちづくりのはじまり

70年代前半まで主産業（林業）の低迷人口流失（過疎化） 人口減少率 約4%/年

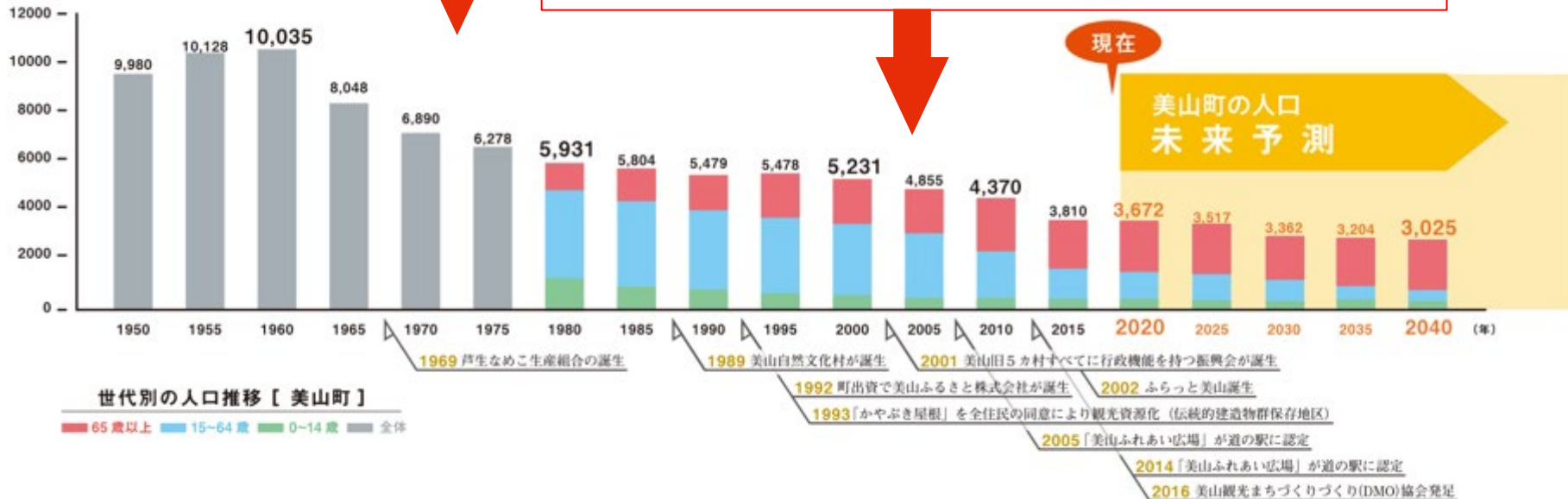


75年前後むらおこし開始 人口減少率 約1%/年



89年(H元) 村おこし課設置。93年美山町北地区 重要伝統的建造物群保存地区に選定

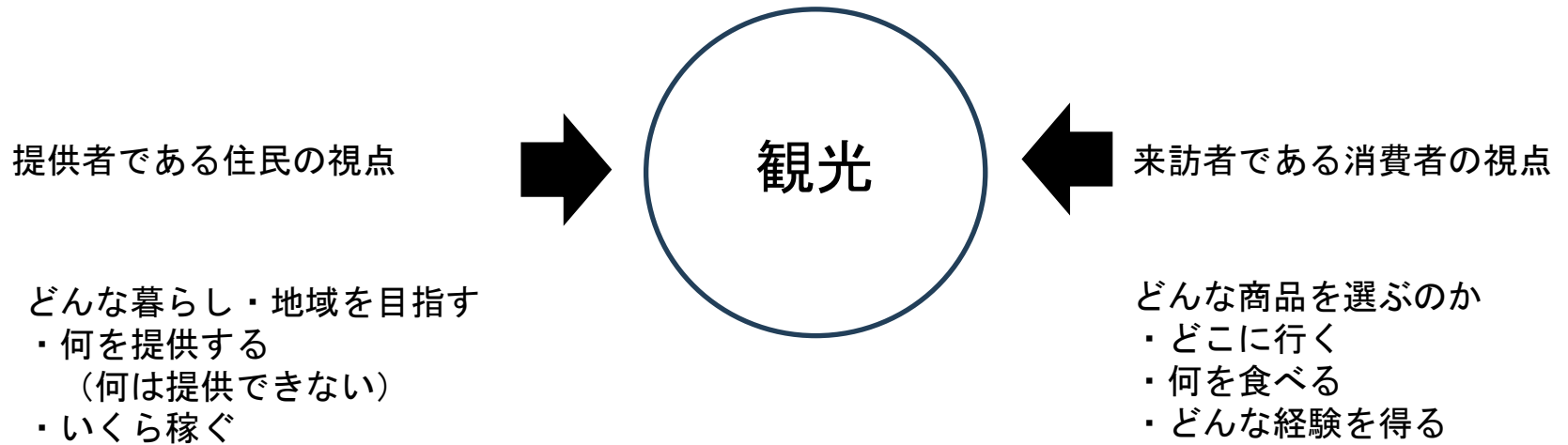
2006年 1 月平成の大合併 人口減少率 約2～3%/年



出典：宮島振興会「データで見る南丹市美山町これまでと未来」



観光まちづくりの考え方



観光の目的は「地域の持続性」

地域の持続とは、次の世代に風景をつなぐ

人材と支える経済や社会的仕組みを持ち合わせていること



観光スタイルの変化

グリーンツーリズム

→「農村地域において、自然、文化、人々との交流を楽しむ、滞在型の余暇活動」であり、農村に住む人にとっても「クオリティライフ」を享受できる。



エコツーリズム

→観光を手法にした自然・文化的資源の保全と活用



エコツーリズム推進協議協議会

2007年 観光立国推進基本法施行・エコツーリズム推進法施行

2008年 有志によりエコツーリズム先進地への視察

(滋賀県高島市・長野県飯田市・京都府宮津市)

2010年 南丹市美山エコツーリズム推進協議会設立

全体構想認定のための準備を始める。

2014年11月 南丹市美山エコツーリズム推進全体構想認定（環境省）

2016年7月 一社）南丹市美山観光まちづくり協会 設立

2018年4月 南丹市美山観光まちづくり協会（DMO法人）と一体化

独立した部会としてDMOと共存となる



美山かやぶきの里



2020年12月に「茅葺職人の技」を含む伝統建築匠の技がユネスコ無形文化遺産に登録されたかやぶき職人が多く暮らす。地域内にかやぶき会社が2社あり次世代へ技術継承を担う。



かやぶきの里では、重伝建選定時から住民が保存会を設立。憲章等のルール化や住民出資会社の立ち上などにより、景観保全を行っている。2020年4月より駐車場を有料化、屋根の葺き替え等の財源確保をなども行う。

文化資源の振興・保全



景観を最優先にしたまちづくり

1988年：重要伝統的建造物群保存地区関連調査の実施

1993年：重要伝統的建造物群保存地区に選定

重要伝統的建造物群保存地区選定基準

伝統的建造物群保存地区を形成している区域のうち次の各号の一に該当するもの

- (1)伝統的建造物群が全体として意匠的に優秀なもの
- (2)伝統的建造物群及び地割がよく旧態を保持しているもの
- (3)伝統的建造物群及びその周囲の環境が地域的特色を顕著に示しているもの



北村かやぶきの里憲章

【基本理念】

「売らない」 集落の土地や家などを売ったり、無秩序に貸したりしない。

「汚さない」 家の周り、畑など集落全体を汚さない。

「乱さない」 集落の道路、山、家などの景観や集落の風紀を乱さない。

「壊さない」 重要伝統的建造物群に選定された集落の景観や美しい自然環境を壊さない。

「守る」 店が立ち並ぶ観光地にせず、集落景観を現状のままで守る。

「生かす」 茅葺の散在する集落景観を経済活動や村おこしに生かす。



芦生の森

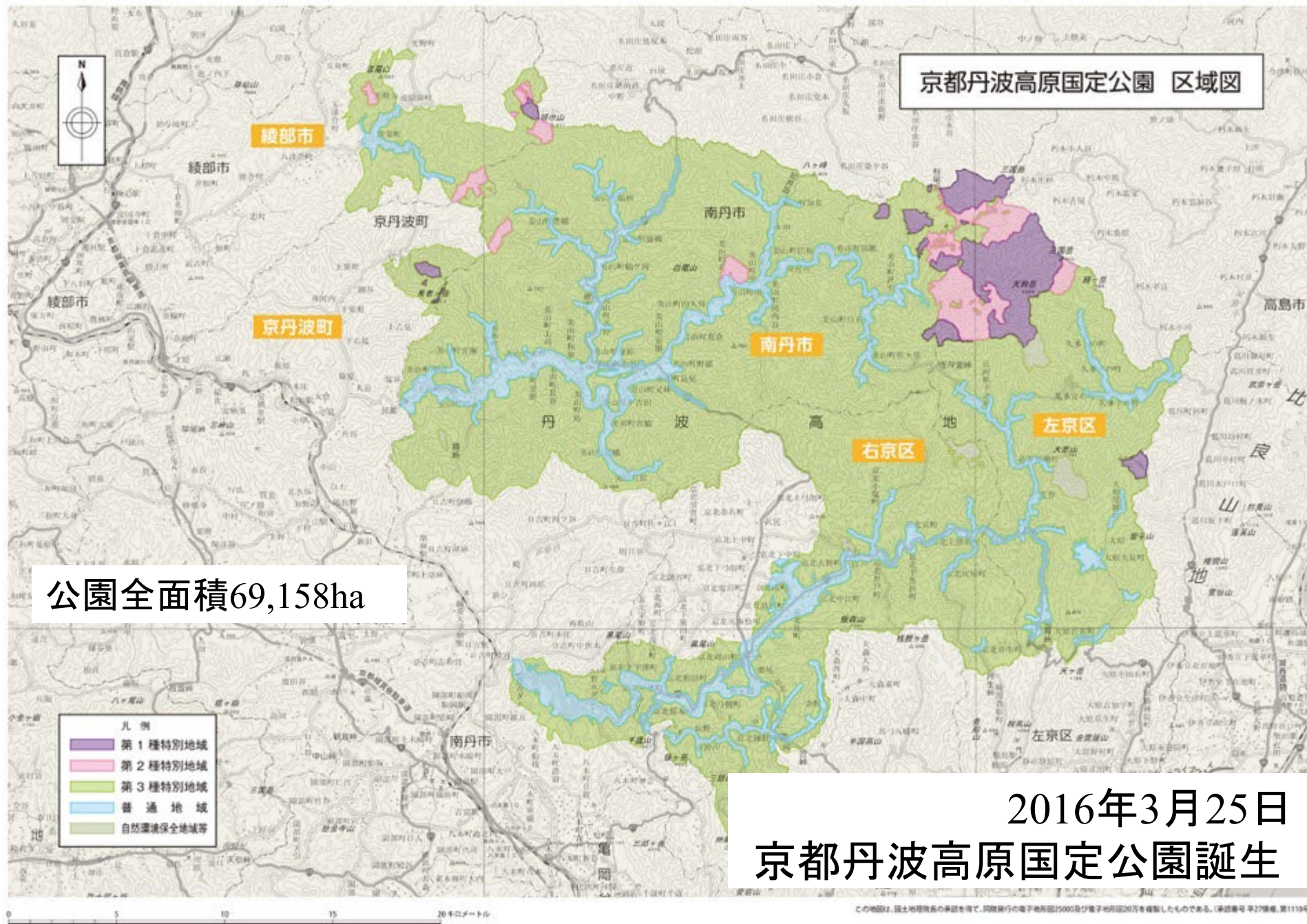


1921年、京都帝国大学が学術研究及び実地演習を地元集落が保有する共有林の一部(4,180.5ha)に99年の地上権を設定し、芦生演習林とした。その後、事務所、苗畑、宿舎等の用地を購入するなどして整備。2003年4月、フィールド科学教育研究センター芦生研究林と改称。長年にわたり京都大学が管理・運営することで生態系維持につながる。

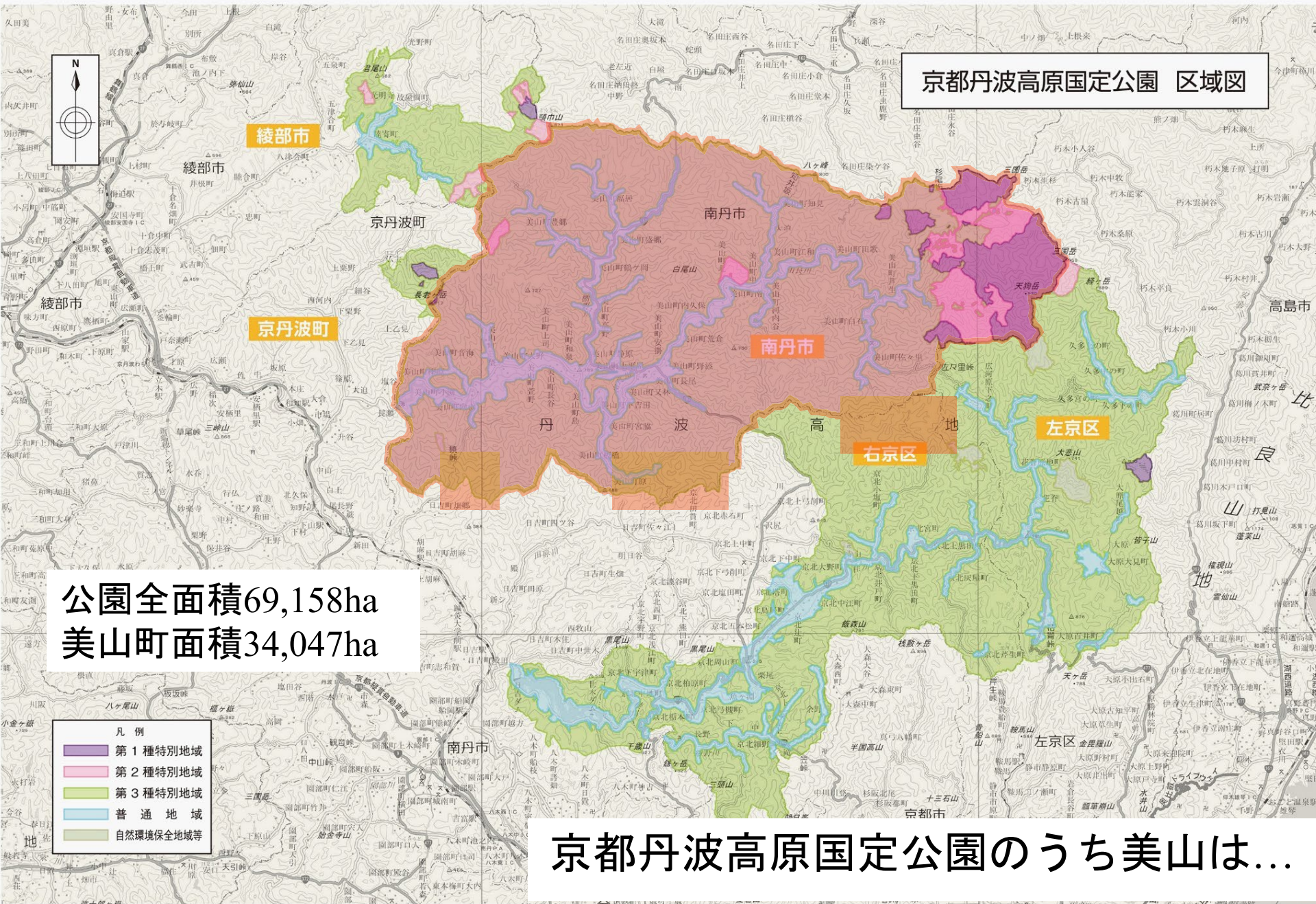


2018年研究林の入林管理の変更に伴い、ガイドの制度化と、入林者への適切な利用促進を目指して、芦生もりびと協会が設立。研究林との共同での研究や、利用調査、ガイドプログラムの実施など行っている。また、各ガイドツアー実施において環境協力金を徴収し、それらを森の保全等に活用している。





2016年3月25日
京都丹波高原国定公園誕生



京都丹波高原国定公園 区域図

公園全面積69,158ha
美山町面積34,047ha

- 凡 例
- 第 1 種 特別地域
 - 第 2 種 特別地域
 - 第 3 種 特別地域
 - 普 通 地 域
 - 自然環境保全地域等

京都丹波高原国定公園のうち美山は...

世界的な評価を受けています...



Miyama, Japan

Officially recognized as a Best Tourism Village by UN Tourism in **2021**

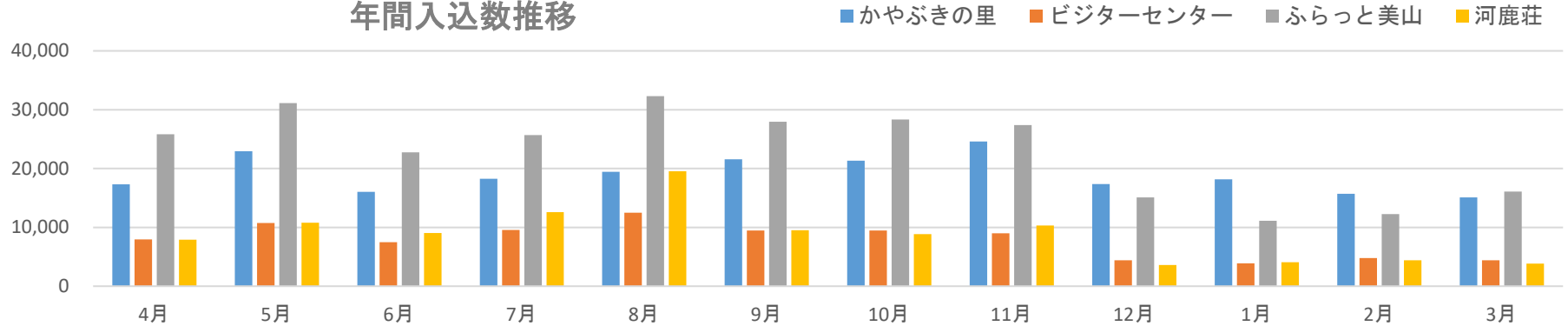
観光を通じて文化遺産の保全や持続可能な開発に取り組む優良地域を認定するプロジェクトで、2021年から始まり、2024年までに全世界で184地域が認定。
国内では、8地域が認定を受けている。



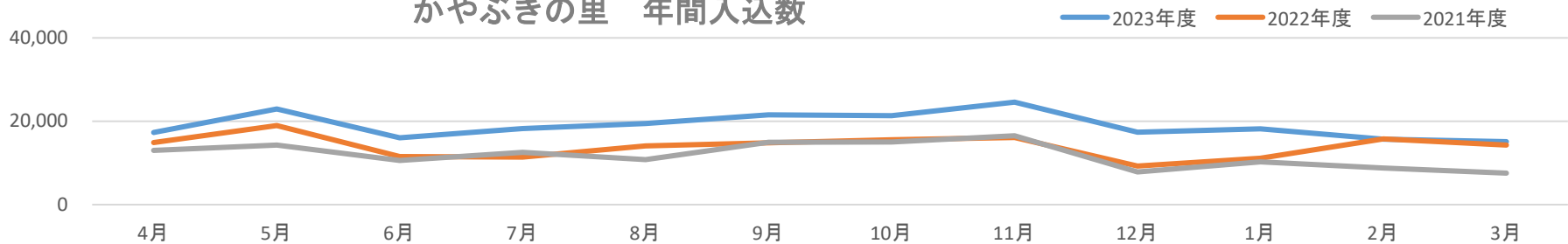
出典：観光庁HPより

観光入込客数

年間入込数推移



かやぶきの里 年間入込数



全体的には12月～3月まで減少傾向
ただしかやぶきの里は、標準化傾向にある。
平準化率90%以上

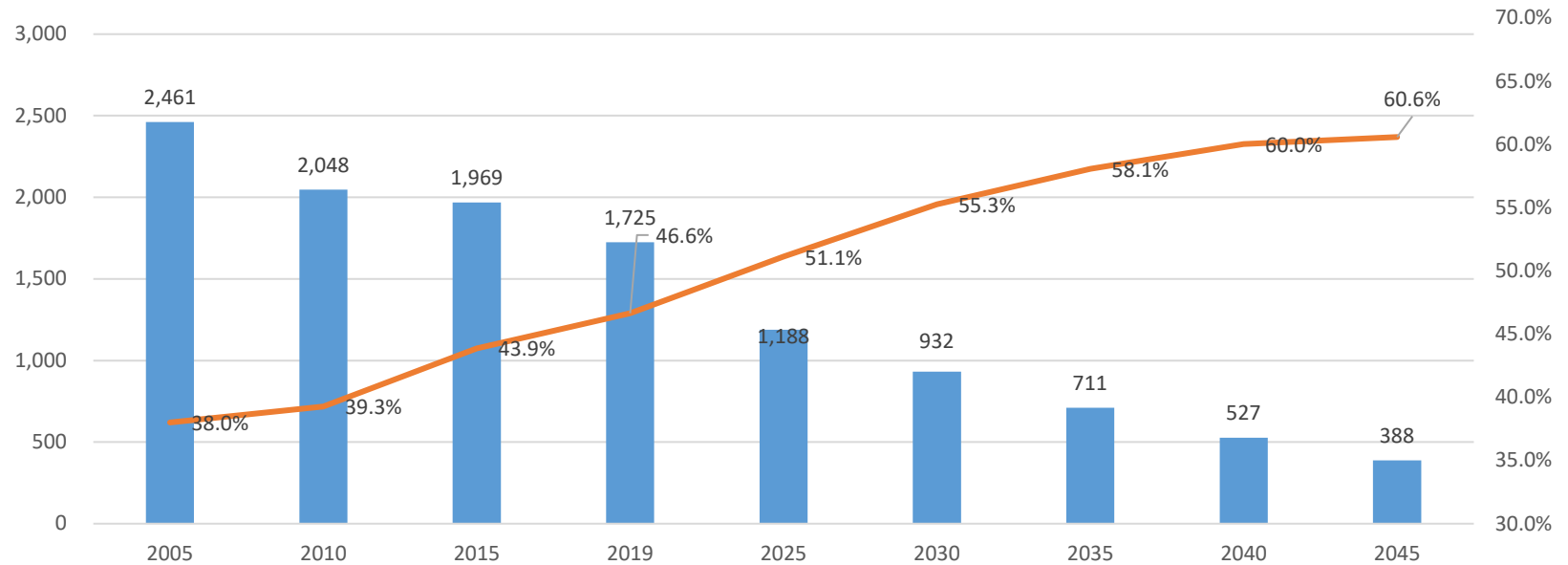


美山町は
約40年まちづくりに関する
取り組みをおこなった...



生産年齢人口の推移

生産年齢人口が20年で約52%減少、高齢化率が50%以上



出典：南丹市統計及び「地域の農業を見て・知って・活かすDB」農林水産省



美山DMO設立

- D** Destination = 地域
- M** Marketing／Management = マーケティング・管理
- O** Organization) = 組織

地域を包括した事業計画の立案
マーケティング（売れる仕組みをつくる）
商品開発（旅行商品造成）
プロモーション



「観光」で稼ぐことを、お金も人も、経験もない地域が考え始めた...

1. 目的を明確化
2. (目標) 資本の集中を具体的に定める
3. (戦略) 何を
4. (戦術) どうやって収益化するのか



観光ビジョンの策定へ...



ビジョンの肝は...

GDP増やす

= 人口 × 労働生産性
(一人あたりの所得)



美山観光ビジョン2021



- ・地域の担い手をつくる

- ・・・観光業に関わる移住者を増やす

- ・雇用・仕事をつくる

- ・・・観光関連売上を増やす
(所得向上と雇用を生み出す)



南丹市観光振興基本計画 2025

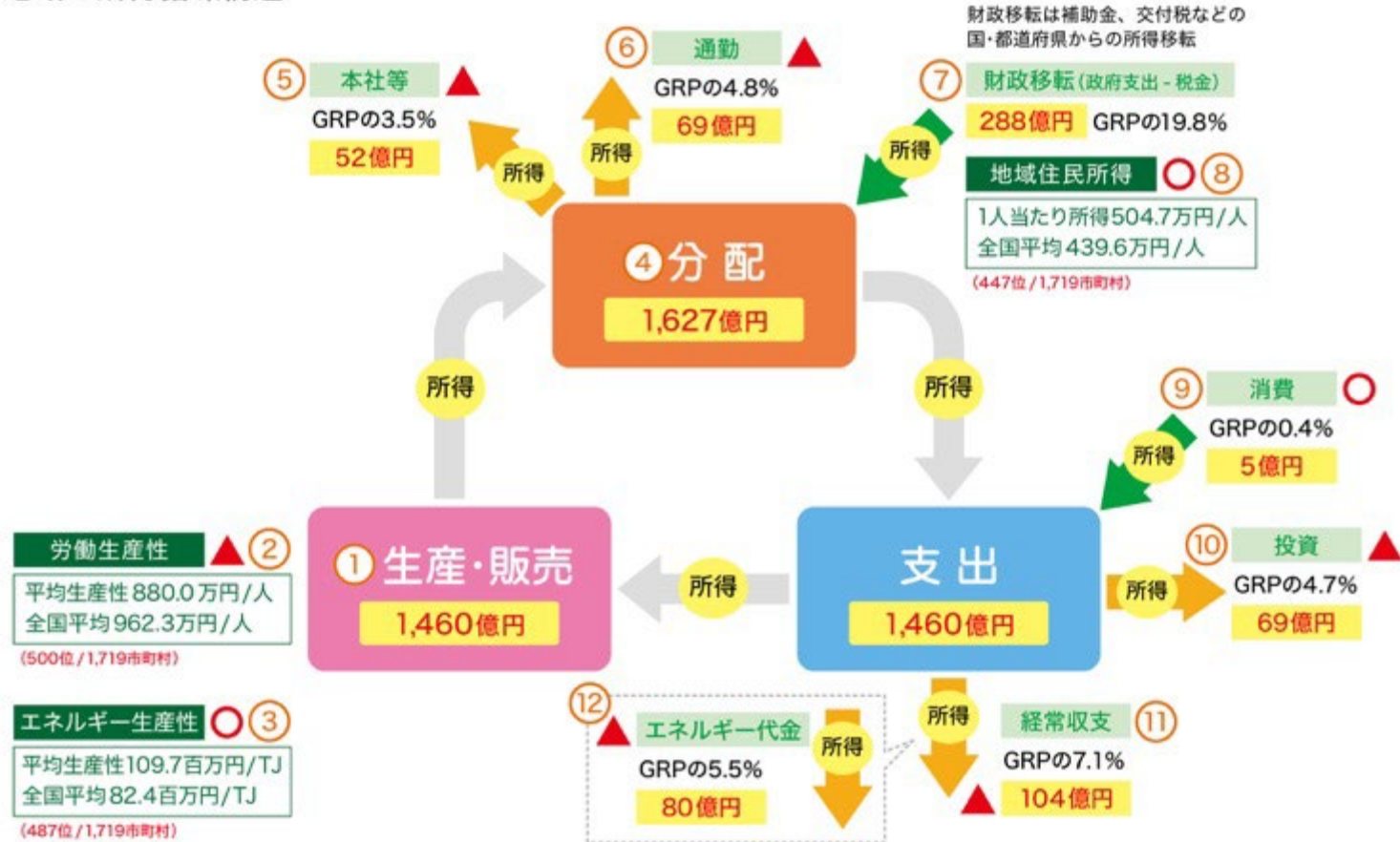


南丹市の産業別構成



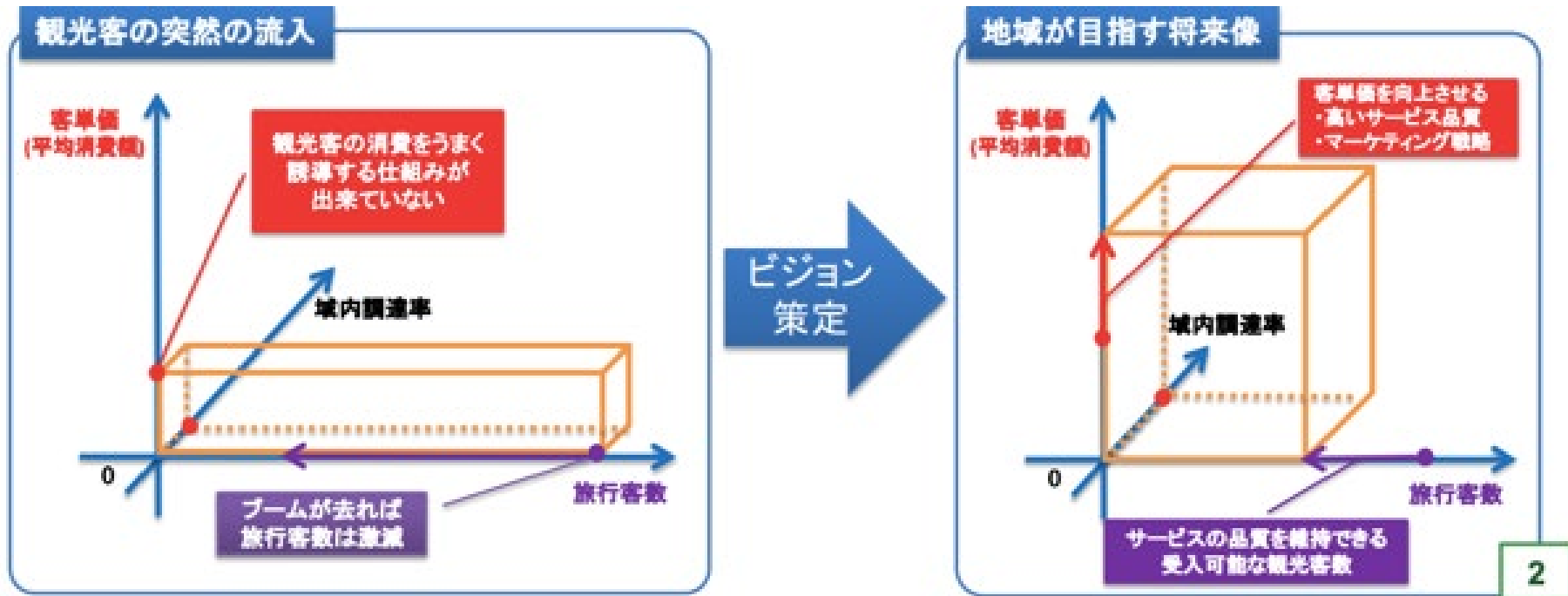
南丹市の所得循環構造

地域の所得循環構造



出典：環境省 地域循環共生圏 WEBより 
※データは2018年度

ビジョンにて目指している観光



参照： 2015年1月7日 地域経済産業グループ「観光経済波及効果に関する調査について」より



地域ガイド



体験プログラム …DMO主催 約3,200名 その他民間事業者 約3,000名



芦生の森トレッキング



茅葺き体験



かやぶきの宿を楽しむ

道の駅美山ふれあい広場を起点に各宿まで車で約15分圏内
最大70名宿泊可能



今後に向けて



持続可能な観光を目指して

エコツーリズム全体構想に沿って産官学民が一緒になったエコツーリズムの推進その中心をDMOが担う。

観光の可能性と発展・バリューチェーンの強化

多種多様地域事業者同士の協業を促進、外部とつながる環境づくりを行う。

- ・ 地域内の取り組みをはすべて「エコツーリズム」として観光商品を共通の価値と意味をもたせる
- ・ データプラットフォームの構築により観光動向の可視化
- ・ 美山ナビ（WEB）に地域情報一元化し、来訪者や外部からアクセスを容易にする



持続可能な観光を目指して

DMOが地域と観光客、事業者との繋ぎ手となり、それぞれの幸せが観光によって地域経済が循環する社会を目指しています

観光分野のガバナンス と優先順位付け

実態調査の実施や事業者や住民との話し合いを通じて、地域の課題を明らかにし、地域観光の指針となるビジョンを策定し、それに基づいた地域マネジメントをDMOが行う。

地域内で組織等の整理

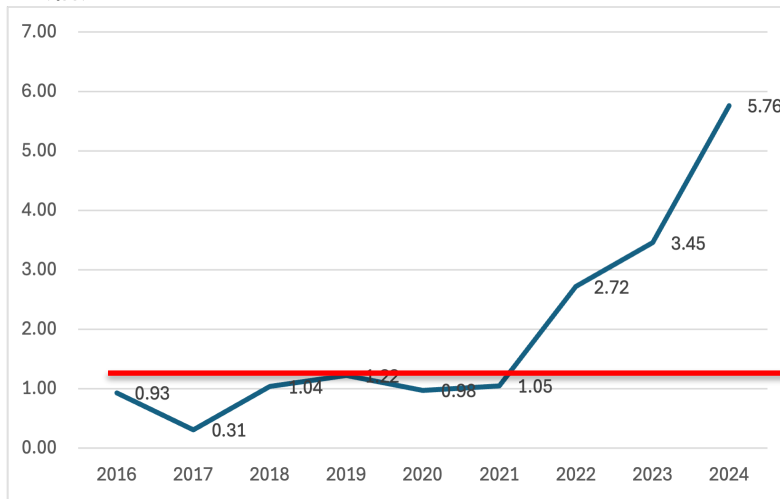
法令上、制度上、補助金上乱立する組織の整理
地域内での合意形成と実効性の担保



地域が稼ぐことを目指して

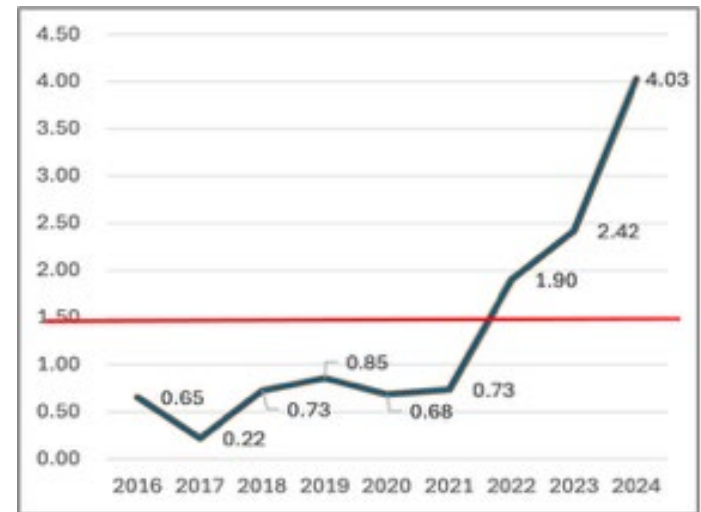
地域全体への経済効果をもたらす
エコツーリズム推進の核となり持続できる協議会（DMO）へ

（倍） 補助金に対しての事業効果



設立当初から積算での効果 1.94倍

（倍） 地域への還元率



設立当初から積算での効果 1.36倍

